

163 小田原市総合文化体育館・小田原アリーナ

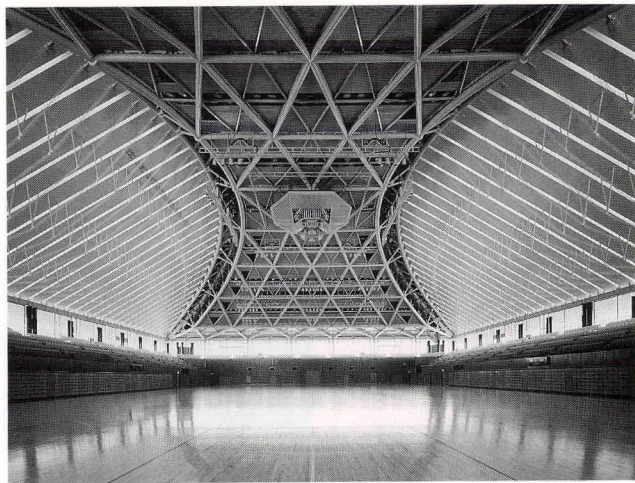
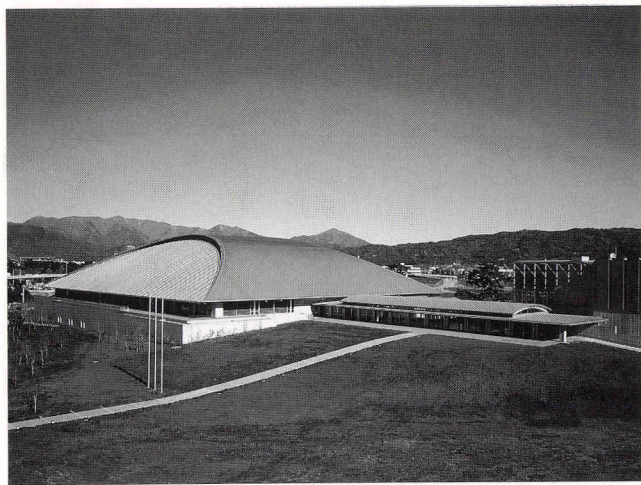
神奈川県 建築設計——坂倉建築研究所

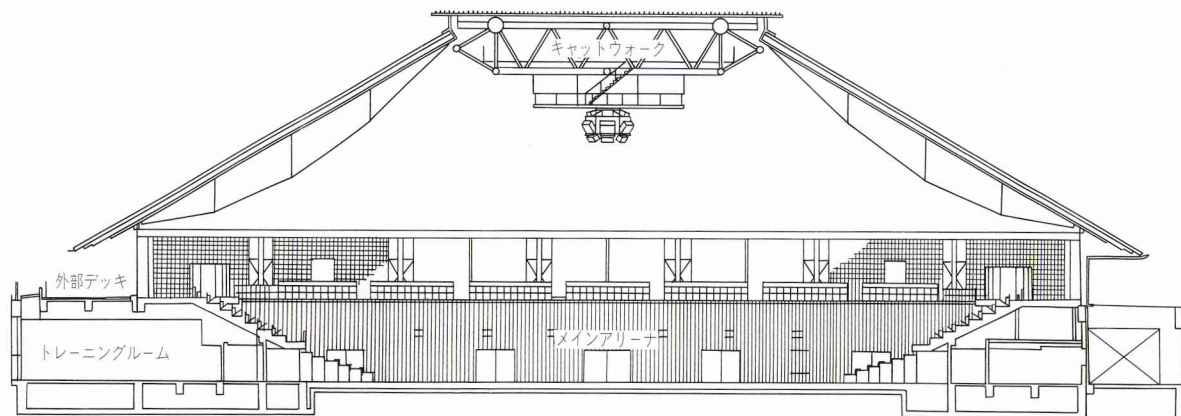
鉄筋コンクリート造+鉄骨造・一部鉄骨鉄筋コンクリート造，地上4階・地下1階建，1996年

メインアリーナは62.6m×96.8mの四隅に鉄骨鉄筋コンクリート造の柱を建て、鋼管による立体トラスのアーチを長辺方向に架けている。屋根の形は半円筒の両端部を斜めに切り落とした形で、その境界にメインの太い鋼管を配置し、柱への力の流れをスムーズにしている。その脚部を引張材で結んでアーチの開き止めとしている。アーチと柱頭とは、工事中、仮設のサ

ポートから柱へ屋根自重を移すまではローラーとし、その後固定した。屋根の斜めの面には、等間隔に張弦梁を架けて、その間に光のスリットを設けている。サブアリーナの屋根は鋼管のアーチを2本ずつ傾けて組み合わせ、安定した骨組にしている。

左：外観
右：メインアリーナ
撮影：新建築社写真部





上：メインアリーナ断面 (S=1/1500)

左下：サブアリーナ

右下：鉄骨建方

撮影：新建築写真真部 (左下), 三輪写真事務所 (右下)

